

地域共生再エネ導入の優良事例

太陽光 | 熊本県合志市



EPISODE 001

市所有遊休地の活用、再エネ発電会社への市や地域企業の出資、売電収益を農業振興に活用する仕組みのコーディネート

地域経済波及効果

地域還元

**設備工事
地域企業**

地域還元

**収益で
農業振興**

建設効果

8,000万円※1

(参考) 建設事業費：3.2億円

事業効果

3,300万円/年※2

合志市の少子化対策に例えると



245人※3の
子供増加に相当

合志市の観光振興に例えると

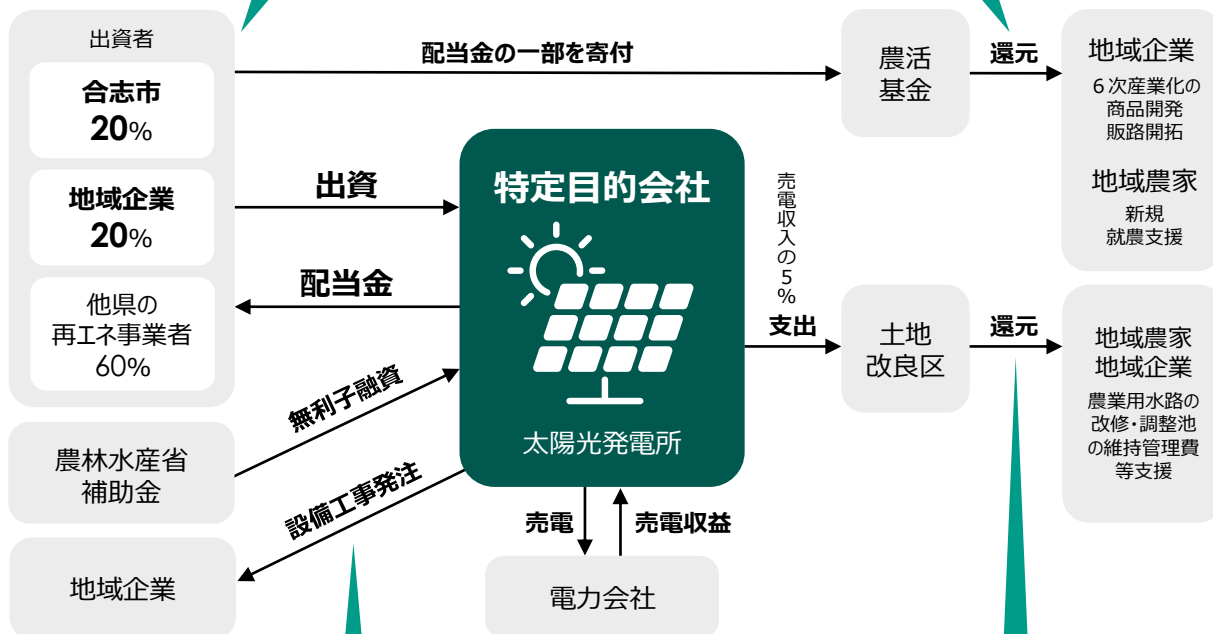


2,300人※4の
観光客増加に相当

経済構造

地域出資40%確保で
地域所得の増加

売電収益を農業振興に活用し、
地域の稼ぐ力を強化



地域企業発注で
地域所得の増加

売電収益を農業インフラの
整備に活用し、農業経営改善



人口
62,000人



農業
振興



太陽光
発電

九州・熊本県合志市



※1 地域住民に帰着する効果。地域で発生する直接効果5,120万円+第一次間接効果393万円+第二次間接効果2,489万円

※2 地域住民に帰着する効果。地域で発生する直接効果2,197万円+第一次間接効果49万円+第二次間接効果1,010万円

※3 子どものための食事や衣服・身回品に加えて、幼稚園や小学校等の教育への消費、医療等への消費が増加する状況を想定し、2019年全国家計構造調査及び当該地域の現状の産業構造に基づく平均的な域内調達割合に基づき推計

※4 地元のお土産品の購入や飲食店での食事、ホテル・旅館での宿泊が増加する状況を想定し、旅行・観光消費動向調査(2020年1~12月期)及び当該地域の現状の産業構造に基づく平均的な域内調達割合に基づき推計